平成２８年度　施策評価シート

基本目標	Ⅰ　「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	130 水と緑を活かした、美しい景観をつくる
施策	131 まちなみに地域ごとの特色を反映させる
施策の目標	地域ごとに、区民が愛着をもてる個性と風格のあるまちなみが広がり、区外からもその美しいまちなみを楽しむために多くの人が訪れています

１　基本計画における成果指標

指　標　名	単位	目標値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
墨田区のまちなみが美しいと思う区民の割合 （22年度「墨田区基本計画改定に向けた社会調査」に基づく。＊平成17年度は22.8%、平成22年度は27.3%）	%	30.0	－	－	－	－	42.1

２　１の「成果指標」以外に施策の進捗状況を示す指標

指　標　名	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
推進地区内タバコのポイ捨て数（定点観測）	本	24	23	13	8	5
路上喫煙等禁止推進地区指定数	地区	4	5	5	5	5

３　目標と現状(実績)についての分析

指標の推移・施策の課題や問題点について記述

・路上喫煙等については、区民からの苦情件数も多く、啓発方法のさらなる工夫が必要である。

４　今後の施策の運営方針

施策の戦略的方向性（選択肢に○を付ける）

	（１）　優先的に資源投入を図る。
	（２）　現状維持とする。
○	（３）　現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	（４）　資源投入の縮小を図る。

【上記の判断理由】

新基本計画の策定に伴い、事業の政策目的に照らし、より目的に合致した運用を図っていく。

【今後の具体的な方針】

路上喫煙等防止対策事業については、地域活動団体等と連携してたばこのポイ捨てのない、きれいなまちづくりを進めるという観点から、施策の位置付けを変更する。

5　部内各課で実施しているこの施策に係る事務事業　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円)

番号	事務事業名	課　名	27年度 歳出決算額	事務事業評価 シートの評価結果	部長コメント
1	路上喫煙等防止対策事業	区民活動推進課	17,494	改善･見直し	来街者が増加するなか、対策を工夫･強化する必要がある。
2	町の美化推進事業	区民活動推進課	6,720	現状維持	地域の生活環境を改善する活動を展開していく上で、必要な事業と考えられる.

【評価結果】

拡充：効果が高く、拡充による更なる効果拡大も期待できる。

現状維持：効果は高いが、拡充しても効果拡大までは期待できない。

改善・見直し：手段の見直しで効果を拡大する必要がある。

縮小・統合：効果は高くないが、継続する理由がある。

休止、廃止：効果は高くなく、継続する客観的な理由に乏しい。

平成28年度　事務事業評価シート

整理番号	1

事務事業名	路上喫煙等防止対策事業		所管課・係	区民活動推進課
施　策	131	まちなみに地域ごとの特色を反映させる	連絡先	5608-6196
予算書名称	路上喫煙等防止対策事業費		執行実績報告書ページ	P50

1 事業の概要

平成18年4月1日より施行された「墨田区路上喫煙等禁止条例」に基づき実施している。	事業開始年度	平成18年度
	終了予定年度	未定

2 事業の対象・手段・目的（具体的に、限定的に記入してください）

【対象】　誰（何）を対象としているのか	
区民及び墨田区を訪れるすべての人	に対して
【手段】　どのような方法で行ったのか（具体的な事業内容）	
キャンペーンやパトロール等による喫煙マナー・ルールの啓発運動を行い、喫煙者の意識・モラルの啓発	を実施したことで
【目的】　この事業によって対象をどのような状態にするのか	
「歩きタバコ」「ポイ捨て」等の迷惑喫煙がなく、区民等が安心して快適な生活を送れるとともに、美しい地球環境をつくる	状態にする。

目的を達成するための指標

種類	指標名（指標の説明）	単位	年度	H25年度	H26年度	H27年度
活動指標（手段に対する指標）	推進地区内たばこのポイ捨て（定点観測:3日間合計平均値）	本	目標値			
			実績値	13	8	5
成果指標（目的に対する指標）	苦情の件数	件	目標値			
			実績値	53	36	78

目的の達成に対する事業の結果（指標分析と事業実績の要因分析）

推進地区におけるキャンペーン等の啓発運動、パトロールによる指導・啓発により路上禁煙、ポイ捨ては年々減少している。
事業所や店先での喫煙についての苦情が増加傾向にある。

3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) *歳出は切上げ、歳入は切下げ

科目	款	区民生活費	項	区民活動推進費	目	区民活動推進総務費	
27年度歳出予算額	20,990	27年度歳出決算額	17,494	27年度執行率	83.3%	28年度歳出予算額	16,086
27財源内訳（決算額）	国庫支出金	都支出金	その他	一般財源			
	無	無	無	有			
使用料等の収入の有無	無	使用料等名称				収入額	
補助金名称 *複数ある場合は代表的なもの							
27年度実績額		28年度予算額		対象			
開始年度		根拠法令					
算定基準				補助率			

平成28年度　事務事業評価シート

4　視点別の評価（担当者評価）

(1) 事業の必要性	評価結果	高い	前年度評価	高い
区民等からの路上禁煙・ポイ捨てに関する意見・要望が大変多く、事業を継続して行う必要がある。				
(2) 事業の有効性	**評価結果**	どちらかといえば有効	**前年度評価**	どちらかといえば有効
推進地区内では条例制定前の平成17年度に比べて、ポイ捨てが減少したが、その後は横ばいである。 パトロール委託経費が予算の多くを占めているが、パトロールの効果でポイ捨てや路上喫煙が減っているという意見もある。				
(3) 事業の効率性	**評価結果**	どちらかといえば効率的	**前年度評価**	どちらかといえば効率的
パトロールの回数やルートの見直しを行い、効率的に指導できるよう対応している。				
(4) 現状と課題	・地区によっては喫煙所の環境改善や移設を検討する必要がある。 ・啓発物の外国語対応を進める必要がある。 ・推進地区の拡充については区民の意見を聴きながら適宜判断していく必要がある。			

5　総合評価（課長評価）

評価結果	改善・見直し	判定理由	観光客の増加に伴い、環境が悪化しないよう、喫煙所の整備やパーテーション設置などに引き続き取り組む必要がある。また、区民からも一定の対策が求められている事業である。
今後の方向性（見直しの視点）	防犯・防災及び地域の美化という観点から、区としても一体的に進めることが効率的である。担当所管も含めて検討すべきである。		

平成27年度区議会の質問状況	時期	平成27年9月第三回定例会、平成27年9月区民文教委員会
	要旨	推進地区の制定基準について、看板の設置・東武曳舟駅の改良

平成28年度　事務事業評価シート

整理番号	2

事務事業名	町の美化推進事業		所管課・係	区民活動推進課
施　策	131	まちなみに地域ごとの特色を反映させる	連絡先	5608-6201
予算書名称	町の美化推進事業費		執行実績報告書ページ	P62

1 事業の概要

町会長・自治会長を環境改善推進員として位置付け、防災・交通安全・緑化・美化その他地域の生活環境を改善する活動を行ってもらい、それに対し謝礼を交付する。	事業開始年度	昭和５４年
	終了予定年度	未定

2 事業の対象・手段・目的（具体的に、限定的に記入してください）

【対象】 誰（何）を対象としているのか

区内町会・自治会	に対して

【手段】 どのような方法で行ったのか（具体的な事業内容）

町会長・自治会長に町の美化・防災活動等に対してリーダーシップをとってもらえるよう環境改善活動	を実施したことで

【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか

町の美化・防災等の環境改善活動が活性化している	状態にする。

目的を達成するための指標

種類	指標名（指標の説明）	単位	年度	H25年度	H26年度	H27年度
活動指標（手段に対する指標）	町会・自治会	団体	目標値			
			実績値	167	168	168
成果指標（目的に対する指標）			目標値			
			実績値			

目的の達成に対する事業の結果（指標分析と事業実績の要因分析）

環境改善推進員に町会長・自治会長を指定し、謝礼金を支払っている。（前期・後期各2万円、年間4万円）

3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) *歳出は切上げ、歳入は切下げ

科目	款	資源環境費	項	環境保全費	目	環境保全総務費	
27年度歳出予算額	6,760	27年度歳出決算額	6,720	27年度執行率	99.4%	28年度歳出予算額	6,760
27財源内訳（決算額）	国庫支出金	都支出金	その他	一般財源			
	無	無	無	6,720			
使用料等の収入の有無	無	使用料等名称				収入額	0
補助金名称 *複数ある場合は代表的なもの	無						
27年度実績額		28年度予算額		対象			
開始年度		根拠法令					
算定基準				補助率			

平成２８年度　事務事業評価シート

4　視点別の評価（担当者評価）

(1) 事業の必要性	評価結果	どちらかといえば必要	前年度評価	どちらかといえば必要
町の美化・防災活動に対してリーダーシップをとってもらうためにも必要性は高い。				
(2) 事業の有効性	評価結果	どちらかといえば有効	前年度評価	どちらかといえば有効
町会長・自治会長がリーダーシップをとることで、町会・自治会全体でまちの美化推進に取り組めることから有効である。				
(3) 事業の効率性	評価結果	低い	前年度評価	低い
助成金として位置付け、他の助成金と統合していくことも考慮していく余地がある。				
(4) 現状と課題	環境改善推進員の謝礼は、会長個人に支払をしているが、謝礼の意義について正しく認識されていない場合があるため、より丁寧に説明していく必要がある。			

5　総合評価（課長評価）

評価結果	現状維持	判定理由	支出科目を謝礼金とするか助成金とするかについては考慮の余地があるものの、町会長・自治会長が日頃、地域の生活環境を改善する活動を展開していく上で、必要な事業と考えられる。
今後の方向性（見直しの視点）			

平成27年度区議会の質問状況	時期	無
	要旨	無